

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 桑本幸夫	電話番号	0852-22-5167
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	緑化推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	森林の保全、緑化に対する意識を醸成する	
事業概要	①緑化相談への対応、緑化研修会の実施（緑化センター） ②（公社）島根県緑化推進委員会の会員としての緑化推進（県負担金） ③全国植樹祭（平成32年）の島根県開催		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		23.0	28.0	33.0	38.0	%
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	実績値	19.0					
2	指標名	目標値						%
	式・定義	取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	5,197	5,500
うち一般財源 (千円)	5,197	5,500

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基いた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 緑化センターの緑化見本園は、樹木配置の現状確認をH28年度に進めており、樹木プレートも設置予定 県緑化推進委員会での取組みとしては、緑の少年団の組織数も100団を超えた。 全国植樹祭のH32年開催に向け、国土緑化推進機構に対し、開催の申し出を行った。（8月に内定予定）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 緑化センターの緑化見本園の整備が進んでいる（改善される予定） 緑の少年団の活動が、2年連続で全国での表彰を受けるなど、緑化に対する県民意識の醸成に寄与

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <p>(A) 緑化センターへの緑化相談や研修での利用が減少傾向</p> <p>(B) 全国植樹祭に向け、基本構想、基本計画等の準備を進める必要があるが、県としての開催案（予算要求等にも今後必要）検討のための具体的、詳細な基礎資料・情報の不足</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <p>(A) 相談対応・緑化指導を行っていることや、緑化見本園の存在について、県民への十分な周知が行われていない。</p> <p>(B) 過去の開催県の情報は、開催県の報告書やホームページの情報しかなく、事業費等の詳細な資料は入手が困難。また必要な資料の項目も多岐にわたるため収集しきれない。</p>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>(A) 緑化センターの業務や施設についての県民への情報発信の充実</p> <p>(B) 直接に過去の開催県や開催予定県に出向き、情報収集する必要あり</p>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<p>(A) 緑化見本園の整備完了に併せ、ホームページの改修、パンフレットの作成を行い、林業関係者や県民の集まる機会等でPRを行っていく。</p> <p>(B) 後開催指導会議（7月富山県開催）へ出席。個別に過去の開催県や開催予定県を訪問し情報収集（7～8月 福島県、愛知県、鳥取県、石川県、長野県等）を予定</p>

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

全国植樹祭の開催及び準備に係る予算については、事柄・規模的にも特別需要経費として予算要求を行う。
